

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

＜圏域内の市町が抱える地域課題や大学・高校等に期待する取組＞

区分	テーマ	地域課題の概要
② ICT環境の整備・有効活用	AI、ICTを活用した行政事務等の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・行政に対する需要の多様化により、一層の業務効率の向上が求められている。 ・急激なデジタル化により取り残される者が無いよう、適切にデジタルデバインド対策を講じながら、ICTの活用による市民サービス向上を図る必要がある。

市町名	大学・高校等に期待する取組
竹原市	小規模自治体においては、少量で多岐にわたる行政事務等へのAI、ICT利活用のメリットを見出すことが難しい。広域での導入及び活用方法について検討していただきたい。
東広島市	市民ポータルをはじめとした様々な市民サービスを展開しているが、情報技術に不慣れな方々へ浸透しない。効果的なデジタルデバインド対策や、情報技術を活用したサービスを浸透させるための方策等の情報提供を期待する。
江田島市	世代間のデジタルギャップを埋めるための交流を促進し、地域の課題やニーズを把握し、解決策を提案していただきたい。
海田町	デジタルデバインド対策として、ICTを活用した行政サービスの利用方法やデジタルツールの使い方を伝え、デジタルリテラシーを向上させるための地域住民向けワークショップ等の取組を検討していただきたい。
熊野町	人的リソースの制約によりAIをはじめとしたデジタルツール活用によるBPRの検討が出来ていない。既存のデジタルツールを如何に幅広く利用してもらえる環境を構築するか、民間企業等との連携も視野に入れたデジタルデバインド対策の観点から検討していただきたい。
坂町	本町でも電子申請等の情報通信技術の活用が進んでいくなかで、電子機器を使いこなすのが難しい住民を取り残すことがないように配慮しながら行政運営を行う必要がある。電子機器を使いこなすのが難しい住民を取り残すことがないように仕組みを検討していただきたい。
安芸太田町	本町では、地域通貨と連動したスマホアプリを、町民とのコミュニケーション手段として活用することを推進しているものの、現状、アプリダウンロード数が10%程度となっている。アプリ利用者を拡大させていく取組を検討していただきたい。
世羅町	業務効率化に向けた十分な取組ができていない。また、急激な情報化により取り残される者が発生しないための取組も十分行えていない。効果的な施策を検討していただきたい。
岩国市	若年層におけるデジタルデバインドの実情と基礎自治体に期待する対策について提案していただきたい。
周防大島町	AI、ICTを活用した行政事務の効率化や町民サービスの向上を図る上でのデジタルデバインド対策などを検討していただきたい。
上関町	AI、ICTを活用し事務等の効率化を目指すところではあるが、まだ導入するための土台ができていない状態である。今後、AI、ICTを導入した際に、効率化を図るべき業務・住民サービスやその実現方法を検討していただきたい。
田布施町	デジタルデバインド対策の事業（民間事業者による高齢者向けのスマートフォン教室）を実施しているが、参加者以外の町民ニーズが把握できていないため、町民に必要とされる事業内容への改善を図る必要がある。各市町の実態に合わせ持続可能なデジタルデバインド対策の取組を検討していただきたい。
平生町	高齢者を中心としたデジタルデバインド対策として、効率的かつ効果的な取組を検討していただきたい。

市町名	大学・高校等に期待する取組
浜田市	行政ニーズに対応するため、A I、I C Tを活用した業務効率化の手法を検討していただきたい。
出雲市	本市でも生成AIを導入・活用しているが、十分な利活用が図れているとは言えない。特に自治体特有のネットワーク構造（3層分離）のために利活用に制限がかかることが多いため、この部分を解消できる技術提言を検討していただきたい。 デジタルデバインド対策については、高校生によるスマホ相談会、各コミュニティセンター（公民館）でのスマホ教室等を実施しているが、こういった教室等への参加者以外の住民へのデジタルデバインド対策をどのように実施していけば良いか検討していただきたい。
飯南町	情報化に伴う効率化を進める一方、高齢化率46%を超える本町にとっては、情報化社会に取り残される方を効果的にサポートする仕組みを検討していただきたい。